

令和4年1月10日

令和3年度東日本大震災アーカイブシンポジウム  
—震災記録を残す、伝える、活かす—

# 震災の記憶をどう受け継ぐか —2014年神城断層地震震災アーカイブの取組み

信州大学学術研究院教育学系  
廣内大助

東北大学災害科学国際研究所 IF 多目的ホール

# 2014年長野県神城断層地震 (2014年11月22日発生M6.7)

11月22日 22:08分頃 震度6弱:長野市,小谷村,小川村  
震度5強:白馬村,信濃町

死者は生じなかったものの,建物・経済被害など地域へのインパクトは甚大

しかしながら,影響する範囲や社会的認知度から見れば,日本国内でもローカルな災害として位置づけられる。

こうした災害の被災地で被災記録を残すことの意義とは?

・対象:自ずと被災地域および県内

・手段:防災学習に資するコンテンツ作成→学校教育,地域防災,復興ツーリズムなどを通じた地域主体の活用の定着

# 2014年神城断層地震のデジタルアーカイブ



大きな地図で見る

**インタビュー**

被災者の状況などをインタビューしました。動画で閲覧できます。

詳しくはこちら

**震災データアーカイブ**

災害に関する情報（写真、インタビューほか）が地図上で閲覧できます。

詳しくはこちら

**アルバム**

地震発生から、復旧・復興までの写真アルバムとして閲覧できます。

詳しくはこちら

## 地域で活用し、継続していけるものを！

# 2014年神城断層地震震災アーカイブ

誰？ **地域住民**

何？

- ・2014年地震 発災当時のありさま
- ・復旧期・復興期の地域再建プロセス
- ・地域の災害史

当時の写真、体験談を動画で保存、インターネットで公開。  
位置情報を付与、GIS上で管理したデータベース

### どう使う？

#### 住民主体の学びに活かす

- ・学校における**防災教育**の学び
- ・**生涯学習**を用いた地域住民への語り継ぐ学び
- ・**地域資源**として復興ツーリズムでの学び

下記、HPにて公開中

<https://kamishiro.shinshu-bousai.jp/>



地域で活用し、継続していけるものを!

# 震災アーカイブを活用した住民主体の学び促進事業

白馬村・小谷村・信州大学教育学部廣内研究室

## 1. 学校教育での学び

学校における**防災教育の学び**

1. 白馬北小学校・南小学校(6年理科等)
2. 白馬中学校 1年生総合学習
3. 小谷小学校(総合学習/R元年度)

- アーカイブから当時の被災状況を知る。
- アーカイブの看板から現地で当時と現在の姿を比較、被害や復旧過程を学び、発災時に自ら何をすべきか考え行動できる態度を育成。
- 地域防災マップの作成。



## 2. 地域での学び

**生涯学習**を通じた経験の継承, 自立的な運用・情報発信

- 公民館講座を活用した地域住民にアーカイブへの学習(座学・フィールドワーク)を実施。「語りべ」の育成。



アーカイブサポーターズによるアーカイブの利活用と自立的運用を目指した体制づくり



## 災害伝承の場づくり

## 3. 復興ツーリズムでの学び

語り継ぐための**地域資源**づくりと学び

- ツーリズムマップの作成、スノーピーク白馬と連携したセミナーおよび自転車ツアーの企画
- ガイドや語り部の派遣もこの活動とリンクさせ、学びの成果を結合、白馬の多面的な魅力発信に貢献

現実の空間

遺構  
看板

デジタルな空間



子どもたち

観光客



往還

- 白馬村を訪れる観光客などに、オフサイト拠点(看板)などを観光資源と位置付けた復興ツーリズムを展開する。余暇を活用した学習型ツーリズムのニーズに対応した回遊プランを提案、今後社会科見学や防災研修も展開



ツーリズムマップ



セミナーの様子



フィールドワークの様子



看板

# 語り継ぐ学び -震災遺構として情報発信

## QRコード看板の設置

(令和2年度) 白馬・小谷村内10地点にQRコード付きの説明看板を設置し, 現地で被災時と現在の様子を比較できるサイトを整備



現地を訪問しスマホなどでQRコードにタッチすることで, 発災時の様子を見ながら, 現在の状況と比較し震災を理解できる仕組み

中土神宮寺の横向き観音

デジタル空間と現実空間を往還する「場」



# 1. 学校教育での学び—学校における防災教育の学び

震災アーカイブを活用した教育プログラムの実践。

(R元年度)小谷小、白馬中1年生(総合的な学習の時間)

(R3)白馬北、南小6年生、白馬中3年生の総合的な学習の時間を活用した取り組み

白馬中:小谷・白馬の未来を担う子どもたちが、アーカイブで当時の被害の様子を学び、実際に体験した方に自らお話を聞く活動を通して、災害の恐ろしさと防災の大切さを学び、それを地域社会に発信する。  
小学校:地震断層などを見学し、看板とアーカイブを活用しながら、自然災害や防災を学ぶ学習を実践

## 座学



アーカイブの中のアルバム  
やインタビュー動画をグ  
ループ全員で視聴



発災当時と現在の村の様子を比較し、  
地域社会の復旧・復興の様子を理解  
する。またその課題などを考える

## フィールドワーク



計画した場所に行き、写真撮影。撮影場所  
について地域で出会った人に当時の様子  
を尋ねる。

## 成果発表



総合文化祭、アーカイブ展、報告会で他学年や  
地域の人に向けて学習の成果を伝える

## 2. 地域での学び－震災アーカイブサポーターズ

(令和3年度)白馬村公民館講座と連携し、山麓めぐりガイドの方々に、**アーカイブサポーターズ養成講座**を実施。アーカイブの利活用や語り部の育成など、震災の経験や記憶を村民自らが引き継いでいくための仕組みづくり。

今年度の達成目標:

- ◇「山麓めぐり」にあたり、白馬の地形や過去の地震災害について学習し、自然環境と災害、**防災への関心を高める**。
- ◇過去の災害について**語り継ぐことの重要性**について学習し、その成果を発表する。
- ◇震災7周年に合わせて参加者が**成果を発表**する(ビデオ、ポスター展示など)

### 座学・ディスカッション



### フィールドワーク



### 成果発表



令和3年度実施 全5回

- ・第1回目:ワークショップ&セミナー(7/15)
- ・第2回目:フィールドワーク(9/30)
- ・第3回目:熊本地震の事例学習・震災を伝えるツアーコースづくり(10/21)
- ・第4回目:ツアーコース発表・まとめ(11/11)
- ・第5回目:熊本大学との意見交換会・7周年報告会で成果発表(11/22)

# 2. 地域での学び－震災アーカイブサポーターズ

## ○全体の感想より

「今回の地震だけではなく、地質・断層のことなど深く学んでみたい」

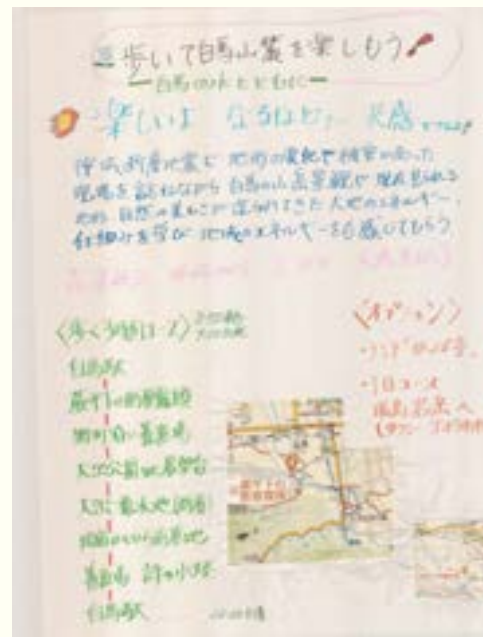
「熊本と白馬のアーカイブを比較して、被災の規模の違いで内容も変わってきたり、量も変わると思います」

「白馬では、ガイドルートの一部に加えて美しさや豊かさに心を動かされながら地震を含む災害がつくった大地を識り、そこに暮らしていることを感じ取れば良いと思う」

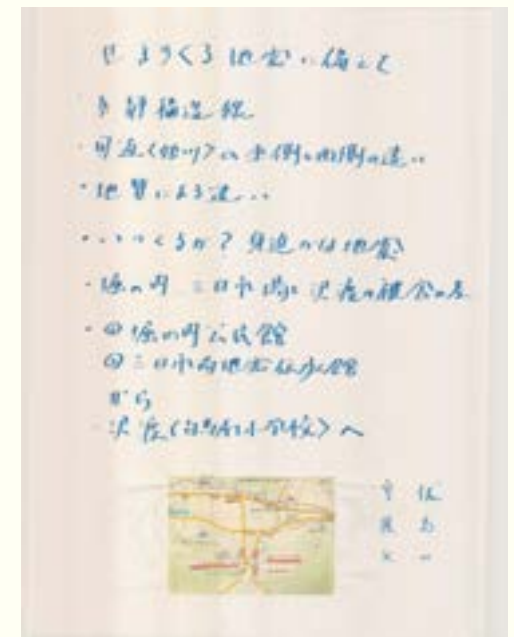
「ツーリズムMAPで小谷村の中谷も被害が大きかったこと、アーカイブ看板があることを知りました。」



信毎2021年7月16日



公民館講座の受講生による成果(ツアー紹介ポスター)





# 3. 語り継ぐ学び – 企業と連携した復興ツーリズム

令和3年11月3日実施予定

白馬で知る・学ぶ「いま」の防災減災 第2弾

11:00- 水素自動車・電気自動車の展示

13:00-13:30 セミナー①(信大、スノーピーク白馬)

神城断層地震の概要、アーカイブ・看板の紹介

13:30-16:00 自転車フィールドワーク セミナー②(信大)

フェーズフリー、車を使った災害時の電源確保方法の紹介



白馬で知る・学ぶ  
「いま」の防災減災 第2弾

FIELDWORK/SEMINAR

参加費 無料

2021.11.03 (木・祝) 13:00-16:00

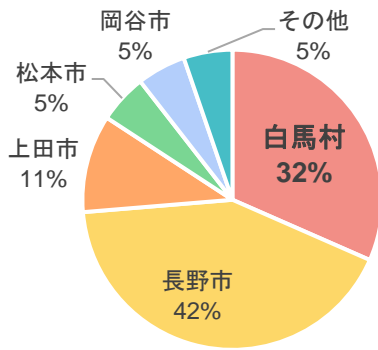
snow peak  
LANDSTATION HAKUBA

レンタサイクルツアー  
Snow Peak GO  
と連携

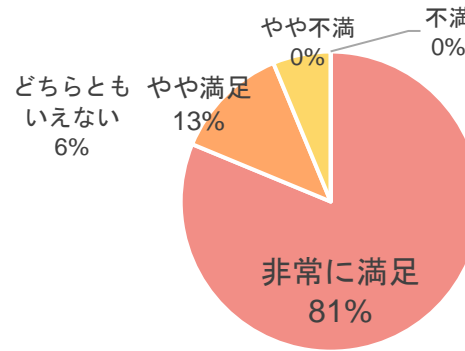
現在の風景と、看板のQRコード  
から被災した過去の風景とを比較  
して、復興の軌跡を追う



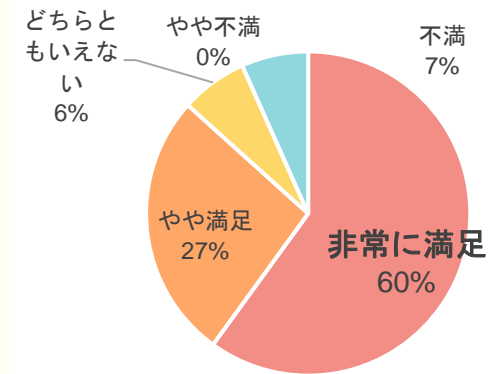
### 3. 語り継ぐ学び – 企業と連携した復興ツーリズム



居住地



自転車フィールドワークの満足度



ポイントラリー満足度

#### ○参加者による感想(一部)

- ・地元の方にお話をうかがえた。とても親切に解説していただいた。
- ・実際に現地に行くことにより、何があったのか目で見る事により自分の防災意識を高めることにつながりました。
- ・知らなかった場所に行けたのと、(地震)前・その後を知ることでもできてよかったです。
- ・ネガティブな出来事もこうして楽しく回ることができる企画は素晴らしいと思いました。



信毎提供

# 3. 語り継ぐ学び –災害アーカイブ展

## 令和3年度展示内容

- ・令和元年東日本台風、神城断層地震による災害記録写真
- ・“猪の満水”災害デジタルアーカイブ(デモサイト)
- ・2014年神城断層地震震災アーカイブの紹介
- ・神城断層地震の被災状況と現在の状況の比較写真
- ・アーカイブを利用した防災教育、生涯学習の取り組み
- ・熊本大学による平成28年熊本地震デジタルアーカイブの紹介
- ・(株)LIXILによる避難所関連設備等



長野市役所	2階 渡り廊下	2021年10月11日(月)~22日(金)
長野市役所	1階 市民交流スペース	2021年11月20日(土)~24日(水)
県立長野図書館	3階 信州・学び創造ラボ	2021年12月7日(火)~19日(日)
白馬村文化祭	白馬村ウイング21	2021年11月5日(金)~7日(日)
白馬村役場	村民ホール	2021年11月17日(水)~26日(金)
小谷村役場	企画展示ホール	2021年11月17日(水)~26日(金)



長野市役所(1階市民交流スペース)



長野市役所(2階渡り廊下)



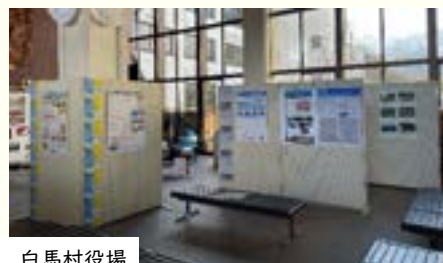
長野市長・加藤久雄氏 見学



長野市長・荻原健司氏 見学



松代地区・熊本大学・(株)LIXIL・附属中の意見交換会



白馬村役場



小谷村役場



ウイング21(総合文化祭)



県立長野図書館

# 来年度以降の展開

## 1. 学校教育での学び

学校における**防災教育の学び**

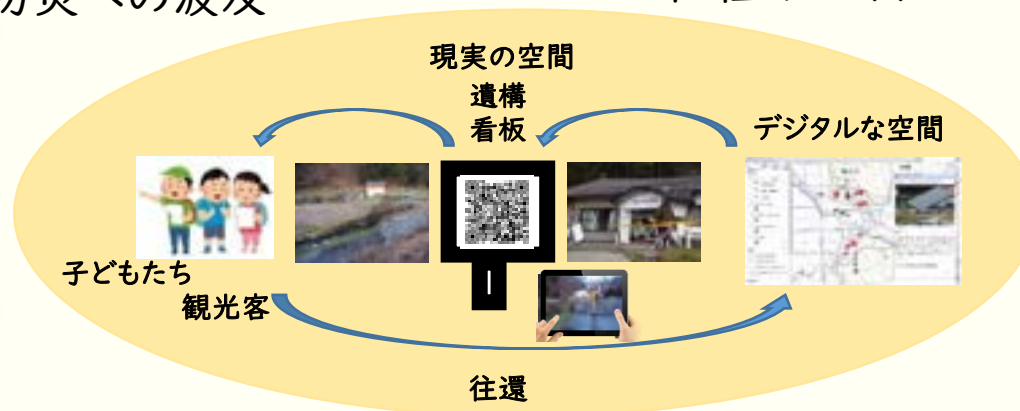
- 子どもたちが震災を学び、震災を伝える
- ・動画の作成
- ・パンフレット作成などを通じた学びの発信へ
- ・学校を通じた地域防災への波及



## 2. 地域での学び

**生涯学習**を通じた経験の継承, 自立的な運用・情報発信

- 公民館講座と連携した語り部の育成
- ・山麓巡りガイドによるツアー実施
- ・知識のアップグレード
- ・語り部としてのノウハウ獲得と仕組みづくり



## 3. 復興ツーリズムでの学び

語り継ぐための**地域資源**の集積と学び

学校や観光と連携した学びの提供

- スノーピーク白馬と連携した自転車による復興ツーリズム
- ・デジタルスタンプラリーなどの仕組みづくり
- ・案内看板の増設
- ・アーカイブ展の開催



誰のために、何を残すのか、どう使うのか

## 地域防災・学校教育で活用できる仕組みづくり・コンテンツ開発

地域が自ら学び災害に備えるための災害アーカイブ  
地域住民主体の維持・利用

神城断層地震震災アーカイブをどう活用していくのか

観光・情報発信

アーカイブサポーターズ

教育

遺構の保存

地域防災

QRコード拠点

地域づくり

語り部や震災遺構案内  
ボランティアの育成



デジタル空間と現実空間、  
人々の記憶や実践をつなげる  
場づくり

地域の人々が主役として取り組める活動へ結んでいく

令和3年10月12日公開 (https://chikuma-archive.shinshu-bousai.jp/)

# “<sup>しし</sup>猪の満水” (令和元年東日本台風) 災害デジタルアーカイブ ご紹介



“猪 (しし) の満水” (令和元年東日本台風) 災害デジタルアーカイブ

[ホーム](#) [令和元年台風19号被災データアーカイブ](#) [災害アーカイブ展](#) [インタビュー](#) [利用規約](#)



- ・地図で見る災害の記録
- ・写真アーカイブ (アルバム)
- ・資料アーカイブ (行政資料等)
- ・災害アーカイブ展特設サイト (令和2年度、令和3年度)
- ・住民へのインタビュー動画
- ・長野県 阿部知事と信州大学 廣内教授の対談動画

について閲覧可能



信州大学と長野県が連携して取り組む災害デジタルアーカイブ特設サイトについて

# まとめ

- ・災害アーカイブの利活用を通じて、継続的に維持管理していく仕組みが必要
- ・災害アーカイブの目的や規模に応じて、その主体を選定する
- ・目的に応じた内容の構築
- ・白馬・小谷では地域を主体として、学校教育、地域防災、復興ツーリズムなどを通じた活用の定着をめざす
- ・白馬・小谷を先行事例として、令和元年東日本台風においても水害アーカイブ構築・利活用事業を展開